

天然しじみのふるさと

天塩

広報てしお

PUBLIC RELATIONS MAGAZINE TESHIO No.726

2018
1

平成三十年新年号



【表紙】 幼稚園もちつき会 (12月2日)

- 新年ごあいさつ P.2 ~ 3
- 成年さん新春インタビュー P.4 ~ 5
- マチの話題 P.6
- かわまち通信 P.6
- 暮らしのお知らせ P.7
- 地方創生プロジェクト紹介 P.8 ~ 9
- こんにちは保健師です P.10
- 病院だより P.11
- 町民カレンダー P.12
- マチの伝言板 P.13 ~ 15

天塩 - 稚内 相乗り交通事業

ドライバー・同乗者申込受付中!

相乗り交通事業を利用
しませんか。
お申し込みは、右記の
QRコード または
☎ (2) 1001まで



新年のごあいさつ



天塩町長
浅田弘隆

新年明けましておめでとう
ございます。

輝かしい平成30年の新春を
皆様とともに迎えられました
ことを心からお慶び申し上げ
ますとともに、新しい年が町
民の皆様にとりまして、ま
た本町にとつても希望に満ち
たすばらしい良き年でありま
すようご祈念申し上げます。

顧みますと、国内の社会情
勢や経済情勢は横ばいの動き
から抜け出し、緩やかな回復
傾向にありつつも、地方経済
においては苦境の背景を成す
人口減少が今後加速していき
厳しい状況は変わりありません。
このような状況だからこそ、
持続発展のために現在取り
組んでいる「天塩町まち・
ひと・しごと総合戦略」を推
進するとともに、平成30年度
に策定する「第7期天塩町総
合振興計画」の中でまちづく

りの指針として、互いが認め
合い助け合う協働と共生のま
ちづくりを推進しながら、次
世代へ紡いでいきたいと考え
ております。

さて、本町の農業は、重要
な基幹産業として成長を遂げ
てきましたが、就農者の高齢
化や後継者不足など多くの課
題に直面しております。農業
団体並びに関係機関等と協議
を進めてまいりましたTMR
センターの推進につきまして
は、設置に向けて法人が設立
されたところであります。本
町は、夢を持って農業を営む
方々に対し、力強いサポート
体制を整えたいと存じます。
水産業につきましては、道
内での秋サケ定置網漁の不漁
が深刻化する中、日本海側は
好調な水揚げとなりました。
また本町の特産品のしじみ貝
の資源対策につきましましては、

主要漁場であるパンケ沼の覆
砂による生育環境の改善と併
せて、昨年からの増殖による稚
貝の生産試験が行われてお
り、こちらも好調な成果が挙
げられているとの報告があり
ました。次年度以降に実施予
定の放流による生残試験によ
り資源量の早期回復を期待し
ているところでございます。

観光分野では、天候不良が
続いておりました町の三大イ
ベント「鏡沼しじみまつり」
「天塩川港まつり」「秋の味覚
まつり」が、昨年は好天候に
恵まれ、多くの人出で賑わい
一安心したところであります。また
本年3月には「てしお温泉夕
映」の宿泊棟などの大改修を
終え、交流人口の拡大や消費
増加の経済効果など、魅力あ
る観光拠点として大きく期待
しているところであります。

近年のスポーツ少年団や中
高生の部活動等での活躍は目
覚ましく、軟式野球少年団「天
塩タイガース」は最高峰であ
る学童大会北海道大会で準
優勝を飾ったほか、2つの全
道大会へ出場し、またジュニ
アバレーボールクラブ「天塩
フエニックス」は全道大会で

初めてメダルを獲得するな
ど、話題の多いうれしい年と
なりました。そうした中で、

本町では、道内初となるI
C Tによる部活動支援を導入
し、遠隔でスポーツ指導を行
うこととしました。スポーツ
を通じて子どもたちの健やか
な成長を促す環境整備を進め
る一方で、全国でも導入が少
ない電子図書館の導入、ソフ
トバンクグループ社の全面協
力による町内小中学校におけ
るプログラミング授業の開始
など、過疎地が抱える地理的
制約による教育格差解消に取
り組んでおります。さらには

「未来を築く子育て応援事業」
として不妊治療や出産準備及
び出産に対する支援、「子ど
もの居場所づくり推進事業」
による様々な課題や困難を抱
える子どもたちが安心して地
域で暮らす環境を整えること
もに、妊娠期から青年期まで
の子どもの成長を支える関係
機関が情報共有するため、本
町独自の「子育てリレーファ
イル」の作成など出産から子
育てに関する支援を進めてお
り、次世代を担う子どもたち
への環境基盤づくりを未来へ

の投資として進めていること
でございます。

本町はシェアリングエコノ
ミーを活用して地域課題解決
を目指して取り組んでいると
ころですが、昨年11月に全国
15自治体の一つとして「シェ
アリングシティ」に認定され
ました。道内唯一の認定自治
体として、また本町と同じ課
題を持つ地域を牽引する地方
のモデルとなるべく、ライド
シェアやクラウドソーシング
といった住民が相互に助け合
う「共助」の仕組みの推進に
邁進してまいりたいと存じま
す。

自らが考え行動し改革を起
こさなければならぬ自治体
の真価が問われる地方創生の
時代でありますので、町民の
皆様と協働し、若者が夢と希
望もつて住み続けられるまち
づくりに職員一丸となって全
力を注いでまいります。ござ
います。
年頭にあたり、町民の皆様
のご多幸とご健勝をお祈り申
し上げますとともに、町政へ
なお一層のご理解とご協力を
お願い申し上げます、ご挨拶とい
たします。

新年の

ごあいさつ



北海道知事
高橋 はるみ

新年明けましておめでとうございませう。平素から道政の推進に深いご理解と温かいご支援を賜り、心から感謝を申し上げます。

昨年を振り返りますと、一昨年の豪雨被害から暮らしと経済を立て直すため、関係機関の皆様と総力を挙げて復旧・復興に取り組み、国道274号線の開通や被災した地域での豊穰の出来秋など、うれしい知らせがありました。一方、北朝鮮のミサイル発射や自然災害など安全・安心を脅かすリスクは多く、緊張感を持って「まさか」への備えと対応を強化してきました。人口減少・危機突破に向けて、オール北海道で地域創生を推進する中、保育料無償化など子育て支援の充実をはじめ、移住定住の促進、全国初のメディカルウイング就航など、誰もが安心して暮らせる地域社会づくりを

進め、元気な地域が増えつつあります。

国際情勢においては、日EU・EPA、TPP11といった貿易交渉の合意など、グローバル化に伴い、「世界の中の北海道」という視点がますます重要となつていきます。また、北方四島における共同経済活動も進展しています。こうした中、ロシア欧露部やハワイ、ベトナムとの交流を深めたほか、海外の拠点を活用しながら、道産食品の輸出拡大や投資の呼び込みなどに

取り組み、本道と海外を結ぶ航空路線は拡大し、年間230万人を超える外国人観光客が訪れ、新鮮で美味しいスイーツは海外において大変な人気です。雪国ならではの冬のスポーツでは、アジア冬季競技大会で道産子選手の活躍が道民に勇気と感動を与えていただきました。また昨春には江差沖で104年ぶりにニシンの群衆が観測され、その江差町のニシン漁による繁栄、松前町と函館市の北前船交易の歴史が、道内で始めて日本遺産に認定されました。民間企業によるロケットの打上げや、公道での車の自動走行テストなど、新しい技術への挑戦もあり、美しい自然や豊かな食はもとより、歴史や文化、スポーツ、さらには技術革新など幅広い分野で北海道の可能性を実感

できた一年でありました。今年、北海道命名150年という大きな節目の年です。先人から受け継いできた北海道価値と未来への展望を道民の皆様と共有しながら、世界に挑戦する環境づくりを進め、明るい未来を切り拓き、次代を担う子どもたちにとつても思い出に残る一年にしたいと考えています。

このため、世界に向けては、北海道ブランドが浸透しつつあるアジア・マーケットを基本に、新しい市場の開拓を戦略的に展開していくとともに、いかなる国際環境化にあつても持続可能な、競争力のある農林水産業づくりを進めます。また、インバウンドの加速化に向けた、国際航空網の充実や北海道航路の拠点化を進め、グローバル化に対応した交通ネットワークの充実・強化を進めます。

また、本道経済の回復基調をより確かなものとするため、働き方改革を進めながら、付加価値の高い商品づくりやICT活用など生産性の向上、人手不足の解消に向けた取組を進めるとともに、環境・エネルギー、健康長寿といった新たな成長産業を育成し、地域をけん引する力強い産業群を育てていきます。

こうした地域経済と暮らしを支える交通・物流ネットワークの形成に向けて、鉄道網やバス

などの地域交通の維持、空港運営の民間委託など、地域や関係の皆様と連携・協力を図りながら、全力で取り組んでまいります。

また、北海道の支える源は「人」です。数多くの方々に支えられている「未来チャレンジ基金」を活用し、昨年は将来を担う10名の若者が、夢を実現するため世界へ飛び立っています。こうした支援を拡充していくほか、新しい総合教育大綱の下、人生の100年時代を見据えながら、「その先の道を切り拓く北海道人」を地域で大切に

育み、若者や女性をはじめ、多様な人々が持てる力を最大限に発揮し、自信と誇りを持って活躍できる社会を目指します。

私としては、これまで取り組んできた地域創生の成果を確かなものとし、未来への新たな扉を開く輝かしい一年となるよう、全力を尽くしてまいりますので、皆様の一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げますとともに、新しい年が、皆様にとりまして、希望にあふれる年となりますよう、心からお祈り申し上げ、新年のご挨拶いたします。

謹賀新年

本年もよろしくお願いたします

天塩町 町長 浅田 弘隆 副町長 長瀬 啓嗣 副町長 齊藤 啓輔 ほか職員一同	町議会 議長 菊地 敏 副議長 後藤 忍 議員 草刈 幸男 議員 遠藤 功 議員 横山 敦 議員 石山 直 議員 渡辺 修勝 議員 佐々木 裕之 議員 谷村 敏彦 ほか職員一同	町立病院 病院長 橋本 伸之 ほか職員一同	教育委員会 委員長 野崎 浩宜 ほか職員一同	農業委員会 委員長 宍戸 栄一 ほか職員一同	選挙管理委員会 委員長 竹谷 志郎 ほか職員一同	監査委員 委員長 伊藤 修弘	固定資産評価審査委員会 委員長 渡辺 修勝	和 田 昇 ほか職員一同
---	--	-----------------------------	------------------------------	------------------------------	--------------------------------	-------------------	--------------------------	-----------------

成年さんに 聞きました!!

平成 30 年の新春を迎え、町民の皆様におかれましては、さまざまな思いをめぐらせていることと思います。

そこで、今年の干支である成年生まれの年男・年女の 7 名の方に昨年を振り返り、また今年の抱負を語っていただきました。



昨年を超える年間 50 冊以上の読書を目指す

これまで妻が助けてくれたおかげで定年まで仕事をがんばれました。妻には感謝しています。今は監査委員や保護司などの仕事をしながら、パークゴルフや読書を趣味にして日々過ごしています。これといって何もない天塩町ですが素朴なところが好きです。老人同士が気楽に話し合える場がもっと増えればいいなと思っています。昨年には孫が高校に合格したり、家族揃って温泉旅行へ行ったり、検査入院で何事もなく一安心したりと、あつという間に過ぎました。今年も家族旅行で美味しいものを食べることを楽しみにしています。また、元気で健康な体の維持のためトレーニングジムに通い、昨年届かなかった年間 50 冊以上の読書を目指しています。



今年 72 歳を迎える
伊藤 弘 さん

1946年 (昭和 21 年)

当時の天塩町は…

- ◆天塩営林区署が再建・設置
- ◆北海道新聞天塩支局が開設
- ◆天塩町選挙管理委員会が発足
- ◆天塩町農地委員会が発足
- ◆天塩町畜産振興会結成

60代も適度な運動と生活習慣で健康保つ

現在、物流会社のホツコウで農家さんの生乳をタンクローリーで工場へ運ぶ仕事をしています。特に冬は悪天候になるので安全輸送に務めています。仕事柄、車に乗務している時間が長いので、スポーツやウォーキングなどで、なるべく体を動かすことに心がけていますが、以前より動けなくなったため、年齢を実感している今日この頃です。今年はいよいよ 60 代になるので、病気や怪我をせず、健康でいられるように、適度な運動と生活習慣に気を付けていきたいと思っています。また、今年も、家族で小旅行を計画していますので、今から楽しみにしています。



今年 60 歳を迎える
齋藤 啓司 さん

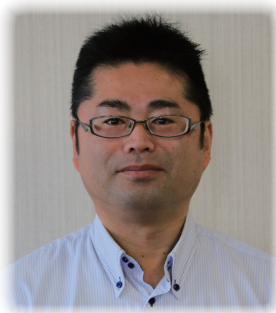
1958年 (昭和 33 年)

当時の天塩町は…

- ◆幌延 - 留萌間の国鉄羽幌線が開通
- ◆札幌天塩人会が発足
- ◆映画「人間の条件」が更岸地区でロケーション撮影
- ◆天塩町納税貯蓄組合連合会が設立
- ◆稚内公共職業安定所天塩巡回相談所が開設

もっと多くの方に特産品を知ってほしい

町の特産品をインターネットで通信販売やハンドメイドの雑貨屋をしています。10 年ほど通信販売を続けていますが、昨年はお客様が増えました。もっと町の特産品を知ってもらうため、注文してよかったと思えるよう頑張りたいです。私は天塩町と稚内市で働いていますので、町の相乗り事業に参加しています。通院で困っている方などを乗せており、運転には気を配って送迎しています。苦勞もありますが、継続していこうと思います。今年も、今の仕事をより精度を上げて、事業を広げていきます。また、ハンドメイド雑貨屋を開業して 2 年経ちましたので、今後は他の地域と連携して、イベントを開催できればと思っています。



今年 48 歳を迎える
計良 徹 さん

1970年 (昭和 45 年)

当時の天塩町は…

- ◆市街地区簡易水道完成
- ◆天塩町老人ホーム設置
- ◆羽幌北線駅無人化等合理化反対町民大会が開催
- ◆振老開基 70 周年記念誌「振老」が刊行

1982年 (昭和57年)

当時の天塩町は…

- ◆第1回鏡沼しじみまつりを開催
- ◆天塩高校定時制課程が閉校
- ◆天塩河口大橋の渡橋式挙行
- ◆泉源小学校落成



今年36歳を迎える
湯澤 昌弘 さん

消費者に安心・安全な生乳を届けていきたい

高校卒業後、札幌の会社に就職し10年ほど勤めてきましたが、酪農をしにリターンで天塩町に戻ってきました。やはり生まれ育った天塩町が良い町だと思います。毎日の晩酌を趣味にしながら働き、就農から7年が経ちました。今後も酪農家として、安心・安全な生乳を維持しつつ生産していきたいと思っています。

昨年を一言で表すと「あつという間」です。やるべきことを後回しにし、結局やらずじまいになってしまったことが反省点です。昨年に受けた健康診断では、初めて再検査がなかったことが、うれしかった一番の出来事です。今年は健康を第一に考え、お酒の量を減らしたいと考えています。

1994年 (平成6年)

当時の天塩町は…

- ◆啓徳小中学校開校90周年記念式典を挙行
- ◆町立病院新築工事を開始
- ◆ニューカントリーハウス第1号へ移住者が入居



今年24歳を迎える
山中 理沙 さん

栄養士としても人間としてもスキルアップ

恵愛荘で栄養士をしています。食事や行事を通して、利用者の方が喜ぶ姿を見ると嬉しくなります。昨年は大学を卒業し天塩町に来て新しい環境でたくさんの人との出会えた「出会い」の一年でした。また、父がペーパードライバードに私に車を譲ってくれました。ミニバンサイズだったので、運転に慣れるのには苦労しましたが、今はバック駐車ができ、旭川市まで帰省できるほど乗り慣れました。

今年は、まず栄養士としてスキルアップを目指します。より勉強して利用者や職員の力になれるよう、人間的にも成長したいです。あと今年は、昨年行けなかった卒業旅行の代わりに沖縄旅行をします。仕事は忙しくなりますが、いろいろなるころへ旅をしたいです。

2006年 (平成18年)

当時の天塩町は…

- ◆姉妹都市提携20周年記念碑を設置
- ◆老人福祉センター・林業研修センター・町民保養センターで指定管理制度導入
- ◆ミニバレーボール愛好会主催第1回ふれあいミニバレーボール大会開催
- ◆国営総合農地防災事業富士見地区着工



今年12歳を迎える
湯澤 彩音 さん

季節の色を飾るネイルアーティストになりたい

学校では「鬼ごっこ」や「かたき」で遊ぶことが好きです。勉強も楽しくて、一人で勉強するよりもみんなでした方がよくなるので、みんなで勉強することが楽しいです。学校以外では友達とお話するのが好きです。夏のプールや冬の雪合戦、たまにゲームをして遊ぶことも好きです。

去年は、家族と旭川のいろいろなお店に行って、家族で使うものや服、本をたくさん買ったことが一番楽しかったです。今年は、国語では漢字や文章問題を、算数では計算間違いをしないように確認して答えを出すようにしたいです。マニキュアを集めたり、塗ったりするのが好きなので、将来は季節に合わせた色を塗ってあげるネイルアーティストになりたいです。



今年12歳を迎える
西川 綾人 さん

優しくまとめる人を目指し将来は野球選手に

マスカットサイダーやチューブリンなどの天塩町のおいしい特産品を食べていると自然豊かな天塩町に生まれてよかったと思います。

学校では休み時間にみんなとドッジボールやドッジビーをして遊ぶことが一番楽しいです。学校以外では、友達と野球でキャッチボールをすることが好きです。

去年は、野球で優勝して全道大会に出場しました。2泊3日の間で友達と温泉に入り、卓球をしたことが思い出に残りました。将来は、野球選手になりたいです。

今年は、六年生として下級生をまとめられるようにがんばりたいです。五年生は人数が少ないですが、優しくまとめる人を目指しています。

天塩中70周年の歴史重ね

天塩中学校は、今年70周年を迎え、11月17日に同校体育館において記念講演会が開催されました。西澤繁同窓会長は挨拶で「私は昭和30年に入学した。当時は汽車通学でたくさんさんの生徒が通っていた」と通学当時の思い出を生徒に語りました。



▲齊藤副町長の講演を聞き入る中学校生徒

「世界とつながり未来を広げよう」と題した講演では、齊藤副町長は「世界と繋がるといことは多種多様な視点を持つこと。英語の力を持つことはもちろん種族や文化、生活様式も異なる人たちを受け入れなければならない」と話し、生徒から「英語を覚えるコツは」の質問に「まず文法、基本の単語を覚えてひたすら読むこと」とアドバイスしました。

老人クラブ交流深める

11月22日、町社会福祉会館において天塩町老人クラブ大会が開催され、約100名が出席しました。

この大会は、町内老人クラブ会員が集い、特技や隠し芸などを披露し合う場として毎年実施されています。

岡田徹さんらクラブ活動に貢献された方の表彰式の後、小林正義大会実行委員長は「地域に根ざした活動をエンジョイできるような日々努力しましょう」と挨拶しました。

小林実行委員長と恵愛荘の大川遥香音楽療法士から「達人の話」と題した講演の後、カラオケや踊りなどの芸能発表を観覧しました。



▲達人の話で音楽の持つ力について話した

心も温まるそば提供

タコキム子井推進協議会は、11月28日に恵愛荘へ訪問に訪れ、恵愛荘入所者やデイサービス利用者ら107食分の山菜そばを振る舞いました。

同協議会は毎年慰問に訪れて軽食を提供しており、今回は、なめこと大根おろしが入った温かい山菜そばを提供しました。そばが苦手な方にはそつめんを出しており、いつも食が進まない方も完食しており、喜んでいました。

食事を終えた方は「出汁が効いて美味しかった。ごちそうさまでした」と笑顔で挨拶していました。



▲美味しいそばに会話も弾んだ

かわまち通信

天塩町の歴史文化遺産のシンボルである川口遺跡にある復元した2棟の竪穴式住居について、昨年度から北海道博物館の右代啓視学芸主幹の指導のもと15年ぶりの修繕作業を2カ年計画で行っておりま。2棟のうち南側の住居については、昨夏に修繕が終了し、翌春より北側の住居の修繕に着手する予定です。修繕する住居の必要部材の中で最も多くを占めるのが屋根部分に使用する葺（コシ）です。

昨年の晩秋に引き続き、葺刈りを、前年に採取した場所で行ないました。ちょうど一年が経過し、葺は昨年より背丈以上の長さに立派に成長していたのに驚きました。

メンバーの大半は、昨年の経験があることと、今年は積雪が無い状態であったことが功を奏し、作業効率が格段に上がりました。当初予定していた作業日程の概ね半分の期間で目標数量の葺を採取することができました。

天塩町には、このような葺が生い茂る湿地が各地に存在していますが、全国的には、湿地の面積が戦後、土地利用の変化などにより減少しました。日本は、かつて「豊葦原瑞穂の国」とよあしはらみずほのくに」と呼ばれたように水田も含む湿地帯が多い国土でした。湿地が生み出す生態系機能により育まれた多種にわたる生物の生息環境が湿地の減少により、全国的に著しく減少しています。国内に生育する水草の3分の1が絶滅危惧種になっています。天塩川下流部の振老地区にある旧川（三日月湖）においても、天然記念物のオオヒシクイが毎年多数飛来し、ラムサール条約（※）の登録候補地にもなっています。このような天塩町に残存する湿地の価値について見直す機会となりました。

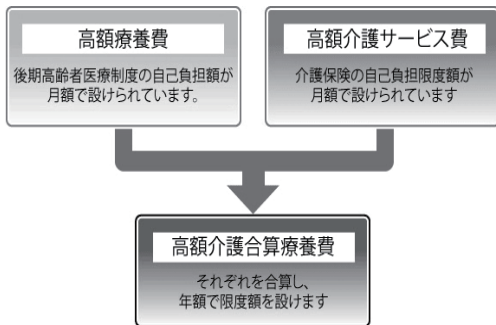
▼背丈を越える葺の刈取作業



※ラムサール条約とは、国際的に重要な湿地及びそこに生息する動植物の保全を目的とした条約です

後期高齢者医療制度のお知らせ

【イメージ図】



高額介護合算療養費とは、医療と介護の両方を利用して世帯の自己負担を軽減する制度です。同じ世帯の被保険者が、1年間に支払った後期高齢者医療制度と介護保険の自己負担額の合計が限度額を超えたときは、その超えた額が後期高齢者医療制度及び介護保険から支給されます。なお、手続きには天塩町福祉課保険係窓口への申請が必要となります。

■後期高齢者医療制度または介護保険の自己負担額のいずれかが0円の場合は対象となりません。

■支給額が500円以下の場合には支給されません。

高額介護合算療養費

【自己負担限度額表】

(1年分の自己負担額の計算期間：8月1日～翌年7月31日)

負担割合	区 分	自己負担額の合計の基準額	
3割	現役並み所得者	67万円	
1割	一 般	56万円	
	住民税非課税世帯	区分Ⅱ ^(※1)	31万円
		区分Ⅰ ^(※2)	19万円

※1 世帯全員が住民税非課税である方

※2 世帯全員が住民税非課税であり、世帯全員の所得が0円（公的年金収入のみの場合、その受給額が80万円以下）、または老齢福祉年金を受給している方

医療費通知

広域連合では被保険者の皆様の医療費総額などについてお知らせする「医療費通知」を年2回、対象期間に医療機関等を受診した全ての被保険者の皆様へ送付します。

これは、一定期間の医療費をお知らせすることで、自己の健康への関心や後期高齢者医療制度に対する認識を深めていただくとともに、医療費通知を被保険者に直接届く広報媒体として活用し、様々な健康等に関する情報を提供することで、医療費適正化、ひいては被保険者の負担軽減を図ることを目的としております。

【医療費通知の活用例】

- 医療費の推移が一目で把握でき、ご自身の健康状況の把握や健康管理に活用できます。
- 健康診断など、皆様の健康保持・増進に役立つ情報をお知らせします。
- 診療日数等に間違いがないか確認しましょう。

【注意事項】

このお知らせは、皆様の受診状況についてお知らせするものであり、請求書ではありません。また、特に手続きなど行っていない限り、必要はありません。

■医療機関等の請求遅れや請求内容を審査中のものなど一部の受診記録が記載されていない場合があります。

■自己負担額は、市町村等から医療助成を受けているなど、記載されている金額と実際に窓口で支払った金額が異なる場合があります。

【イメージ図】

受診年月	診療を受けた医療機関等	診療区分	日数	医療費総額	自己負担額
H29年1月	〇〇病院	医科外来	1	18,000	1,800
H29年2月	××薬局	調剤	1	10,000	100
合計				28,000	2,800

【発送月・対象診療月】

発送月	診療月
平成30年3月	平成29年7月～12月

問い合わせ先

北海道後期高齢者医療広域連合

〒060-0062
札幌市中央区南2条西14丁目
国保会館6階
☎011(290)5601

天塩町福祉課保険係

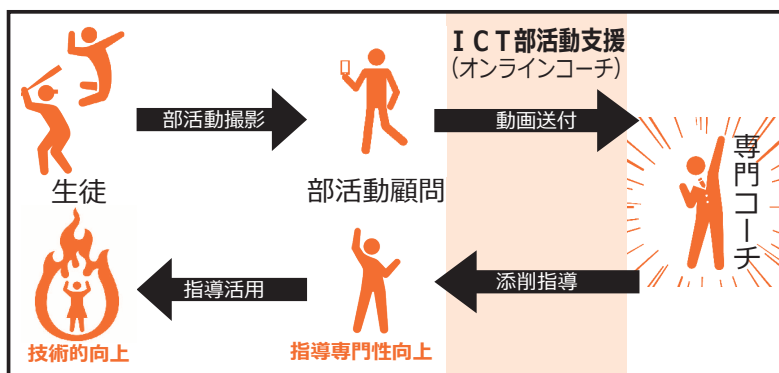
☎内線 135・136・137

Project of Regional Revitalization

ICT部活動支援

スポーツマンシップチャレンジ 2017 in 天塩
SPORTSMANSHIP CHALLENGE 2017 IN TEHIO

Introduction # 9



ICT部活動支援を道内初導入

天塩町では、ソフトバンクグループ社の全面協力のもと「ICT部活動支援【左図】」を平成29年12月から道内で初めて導入しました。

日本体育協会の調査では、中学校・高等学校の部活動顧問の半数以上が担当する部活動の指導経験がなく、専門的指導力に不足を感じているとされています。ICT部活動支援とは、このよ

うな課題解消のため、部活動において元・現役アスリートなどのコーチを部活動顧問を通じてオンラインで繋ぎ、部活動顧問の指導の向上と子どもたちの技術的向上を図るものです。ただし、この事業は、単に子どもたちの競技の技術を向上させるだけでなく、一流アスリートが持つ「スポーツを楽しむ心」、「困難に立ち向かう姿勢」、また「互いに尊重し合う精神」といった『スポーツマンシップ』を養う精神的成長の一助となります。

キックオフイベント開催

ICT部活動支援導入に伴い、12月3日に町ファミリースポーツセンターにて「スポーツマンシップチャレンジ2017 in 天塩」を開催し、町内スポーツ少年団の児童ら91名がスポーツ体験会に参加しました【写真1】。

ゲストには、元プロ野球選手で北海道日本ハムファイターズに在籍し、またメジャーリーグでも活躍した建山義紀氏【写真2】、元バレーボール選手でオリンピックメダリストの迫田さおり氏【写真3】に加え、千葉商科大学サービスクリエーション専任講師の中村聡宏氏【写真4】の3名を迎えました。

またイベント運営には、町教育委員会主催ですが、ソフトバンク



グループ社CSR統括部の統括部長池田昌人氏（写真5）ほか社員をはじめスポーツ少年団関係者等で構成する実行委員会（田所勝実行委員長（写真6）に協力いただきました。野球とバレーボールのスポーツ体験会に参加した児童らは熱心に取り組み（写真7）、また講演やトークショーではゲストの話に目を輝かせながら聞き入っていました（写真8）。

スポーツマンとは

トークショーで中村氏は「楽しいなければスポーツではない。スポーツを楽しむためにはプレーヤー・ルール・審判があつてこそ。だからこれらを尊重しなければならぬ。これに加えて、困難に立ち向かう覚悟と勇気を持つている者が『スポーツマン』だ」と話し、最後に「ぜひカッコいい『スポーツマン』、『大人』になって」と子どもたちへ熱く語りかけました。

子どもたちに送ったエール

建山氏と迫田氏は、プロアスリートとしての経験談を話していただき、また最後に子どもたちに向けてエールが送られました。

【建山氏から】

負けたときにこそ、相手を尊敬し、仲間を励ます。そんな気持ちをもってスポーツに取り組んで欲しい。一生懸命やっても負けることがあるが、一生懸命やれば負けても課題が見つかる。それを克服したときに勝てる。そのような気持ちを持っていろいろなことにチャレンジしてください。

【迫田氏から】

苦手なことをできるようにすることは今の自分を超越すること。今の自分を乗り越えたときには周りの人が喜んでくれる。一人でやっているように思つかもしないけ

ど、喜んでくれる人がたくさんいるということを忘れないでほしい。そしてこれからもスポーツを楽しんでほしい。

アンケート調査から

イベント後、参加者等に対し、アンケート調査を行いました。参加者の子どもたちから「勝っても負けても人のせいにしてない」「スポーツマンを目指して活動していきたい」「毎日の練習が楽しくなりそうだ」など、また見学者から「スポーツマンという意味を改めて考える良い機会だった。今後の子どもの育成に役立てたい」「技術指導だけでなくスポーツのやる意味や楽しさを感じた」などの意見が寄せられました。

子どもたちにとって、プロアスリートから直接指導を受ける貴重な機会となりました。さらに、本イベントが単なる体験会ではなく、スポーツに取り組む意識や姿勢、そしてスポーツを楽しむことを、子どもたちだけでなく、保護者にもスポーツマンシップを学べる機会となりました。

天塩町では、ICT等の活用により都市部との子どもたちを取り巻く環境の地域格差を解消する「未来への投資」を今後も推進してまいります。

効果的な手洗い方法

～感染症（インフルエンザ、ノロウイルス等）の予防に向けて～



冬場は空気が乾燥し、人の免疫力も低下しやすい時期であり風邪やインフルエンザ、ノロウイルスなど様々な感染症にかかりやすい時期です。特にインフルエンザは11～12月に流行り始め、1月～3月でピークを迎えます。家庭で行える対策で最も簡単なことは「手洗い」です。効果的な手洗い方法をご紹介します！

丁寧な「手洗い」はウイルスを体内へ侵入させない効果的な予防策

手洗いは日常的なことなので簡単に済ませがちですが、丁寧な手洗いを行うことはウイルスや細菌の数を大幅に減らし、感染の予防効果を高めます。意外にも面倒に思うのは最初だけ、丁寧な手洗いもひとつの生活習慣として取り組んでいきましょう。

手洗いのタイミング

①帰宅時、②食事の前や食品を取扱うとき、③トイレのあと、④咳やくしゃみを手で押さえたあとなど

「毎回しっかりと洗えない！」「というときには、速乾性の手指消毒用アルコールを上手く活用しましょう。」

洗い残しをしやすい部位

左図にあるように、指先、手のひらのシワ、親指まわり、指と指のあいだ、指輪のまわり、手首は洗い残しがちな部分。手洗いするときに、残りやすい部分を意識しましょう。



正しい手洗い方法

手洗いの前に
 ・爪は短く切っておきましょう
 ・時計や指輪は外しておきましょう



流水でよく手をぬらした後、石けんをつけ、手のひらをよくこすります。



手の甲をのぼすようにこすります。



指先・爪の間を念入りにこすります。



指の間を洗います。



親指と手のひらをねじり洗います。



手首も忘れずに洗います。

石けんで洗い終わったら、十分に水で流し、清潔なタオルやペーパータオルでよく拭き取って乾かします。

～手洗いのポイント～

【石けん】

★固形石けんは菌が繁殖しやすいため、液体や泡のポンプから出すタイプがおすすめです。

★石けんはしっかりと泡立てましょう。

【手洗い方法】

★②～⑥までは各5回ずつ洗い、①～⑥の工程までを30秒間（ハッピーバースデーの歌2回分）、洗い流しは15～20秒間が目安です。

【その他】

★手拭は使い捨てのペーパータオルを使用する等、できるだけ家庭内でタオルの共用は避けましょう。

★洗い残しの多い部位を意識して丁寧に洗うことを意識しましょう。

★水分を十分拭き取り、手指消毒を行うとより効果的です！

【問い合わせ先】 福祉課ふれあい係 ☎直通（2）1728

腰痛とストレッチ

(文責 町立病院PT 富樫 紗希)

PTとは……?
 けがや病気で身体に障害のある人や障害の発生が予測される人に対し、「寝返る」「起き上がる」「座る」「立つ」「歩く」など日常生活に必要な基本動作ができるように身体機能の回復や維持をサポートする動作の専門家です。運動療法や物理療法(電気・温熱など)を用いて、自立した日常生活を送れるよう支援します。



新年が明けました。今年もよろしくお願ひ致します。初めまして、昨年5月より町立病院でお世話になっております。理学療法士の富樫です。わたしは、札幌の専門学校を卒業後、小樽の病院に3年間務め、天塩町立病院に赴任しました。
 皆さんは、理学療法士(フイジカルセラピスト・通称PT)という言葉を聞いたことはありませんか?
 理学療法士ってどんなことをする人だろう?と疑問に思う人もいるかと思えます

- ・長時間の不良姿勢
- ・不適切な体の動かし方

循環不良
 背中の中の筋肉が硬くなる



※このメカニズムだけが全てではありません



特に「運動不足」「ストレス」「慢性疲労」は腰痛の三大要因といわれています。

- ・運動不足・ストレス・疲労
- ・ぎっくり腰
- ・椎間板ヘルニア、脊柱管狭窄症などの脊椎疾患
- ・心因性
- ・内臓などの病気によるもの

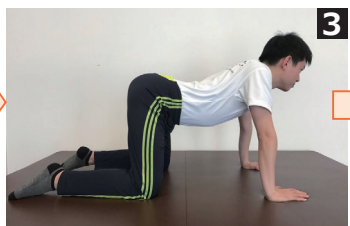
今回は「腰痛」についてお話しさせていただきます。みなさん腰痛に悩まされたことはありませんか?実は日本は、日本人の8割以上が生涯に一度は腰痛を経験している腰痛大国なのです。
 腰痛の原因は多種多様とされています。



四つ這いで手は肩幅より少し開きます



手で床を押す様に、背骨全体を突き出しながら背中を丸めます



肩甲骨を内側に寄せ、おなかを突き出すように背中を反らせます



足を抱え、身体を丸めます
 ※人工股関節全置換術・人工骨頭置換術後の方は、脱臼の恐れがあるため行わないでください。

体操やストレッチは筋肉をほぐして血液の循環を良くするとともに、筋肉を強化し、再発防止にも効果があります。以下に体幹のストレッチをご紹介しますので、生活の中で空いた時間があれば、毎日行ってみてください。
 これらのストレッチは、場合によっては腰痛が増悪することがあります。次の症状がある方は近医を受診し、直接指導を受けるようにして下さい。
 (1) 腰部を含む下半身の局所的なしびれ、又は筋力低下等
 (2) 歩行していると痛みが増悪、休むと軽快し再び歩行できるいわゆる間欠性跛行
 ※無理をしないように行ってみてください。



【問い合わせ先】天塩町立国民健康保険病院 ☎ (2) 1058

町民カレンダー

平成30年 1月

日	月	火	水	木	金	土
休み	生ゴミ ペットのふん	一般ゴミ	資源ゴミ 紙おむつ等 衣類等	生ゴミ ペットのふん	農村地区	休み
12月31	《元日》 1	2	3	4	5 ●天塩町消防団新年 総合消防出初式	6
7 ●天塩町成人式 [社会福祉会館]	《成人の日》 8	9 ●役場仕事始め ■夕映健康相談 [てしお温泉夕映] 13時30分～ 14時30分 ●天塩町新年会 [社会福祉会館] 18時～	★はつらつクラブ 13時～15時	★おでかけサロン [雄信内老人憩の家] 10時～14時	12	13
14	15 ○雄信内保育所開放 日 +眼科外来 受付9時～14時 ■定期健康相談・物 忘れ相談 [天塩町役場] 10時～16時	16 ○天塩中学校始業式 ○こども園開放日 ○あいあいクラブ [子育て支援センター] 10時～12時 ★おでかけサロン [老人福祉センター] 10時～14時 ●運転免許更新時講習 [社会福祉会館] ・初回10時00分 ・優良13時00分 ・一般13時45分 ・違反15時00分 ★ヘルスアップ教室 [天塩中学校体育館] 19時00分～ 20時30分	17 ○天塩小学校始業式 ○あいあいクラブ [子育て支援センター] 10時～12時 ★しゃつきりサロン [てしお温泉夕映] 13時～14時 ●運転免許更新時講習 [幌延町消防署二階] ・優良18時30分	18 ○啓徳小学校始業式 ○あいあいクラブ [子育て支援センター] 10時～12時 +眼科外来 受付12時～15時	19 ★はまなす学園大学 ○託児の日 [ふれあいセンター]	20 ●運転免許更新時講習 [遠別町生涯学習セ ンターマナビィ21] ・優良13時30分
21	22	23 ○あいあいクラブ [子育て支援センター] 10時～12時	24 ○あいあいクラブ [子育て支援センター] 10時～12時 ★はつらつクラブ 13時～15時 ■夕映健康相談 [てしお温泉夕映] 13時30分～ 14時30分	25 ○あいあいクラブ [子育て支援センター] 10時～12時 ★いきいきサロン [雄信内老人憩の家] 10時～14時 +産婦人科外来 受付13時～16時	26 ○5歳児健診 12時30分～13時00分 ○乳児健診 12時50分～13時20分 +小児科外来 受付13時30分～ 16時00分	27
28	29	30 ○あいあいクラブ [子育て支援センター] 10時～12時 ★いきいきサロン [老人福祉センター] 10時～14時 ★ヘルスアップ教室 [天塩中学校体育館] 19時00分～ 20時30分	31 ○あいあいクラブ [子育て支援センター] 10時～12時	2月 1	2	3

・日程は変更となる場合があります
ので、ご確認ください。
・ごみは当日の朝8時までに出して
ください。

※雄信内地区のあいあいクラブは、1～2月はお休みです



屋根から落ちる雪や氷による危険防止

毎年、冬になりますと、屋根に積もった雪、氷、つららが落ちて、歩行者がけがをしたり、また、死亡したりすることがしばしば起こっています。

皆様も、冬期間の生活にはご苦労されていると思いますが、冬期間の通行を円滑にし、事故をなくするため、特に次のことに注意するようにお願いいたします。

- 屋根の雪、氷、つらが道路に落ちる建物には、これに伴う事故を避けるため雪止めをつけるようにしてください。

- 雪止めがつけてあっても強さが足りなかったり、針金などがさび付いたり古くなったりして切れて落ちることもあるので、必ず点検して、悪いところがあれば早めに修繕するようにしてください。
- ビルの壁、窓枠、突出看板等からの落水雪は少量でも危険である

ため、付着した雪や氷の除去を行うようにしてください。また、落水雪の除去の際には、歩行者への十分な安全対策を行うようにしてください。

- 軒下を通行するときは、屋根からの落水雪に十分注意するようにしてください。
- 軒下や道路では、子どもを絶対に遊ばせないようにしてください。

- 屋根から大量の雪が落ちたときは、直ちに事故がないかどうかを確かめるとともに、歩行者の通行への影響を避けるため、速やかに処理してください。

- 交通事故、交通障害防止のため、屋根からの落水雪や敷地内の積雪を道路に出さないようにしてください。

相 続 登 記

相続登記はお済みですか。近時、相続した不動産について相続登記がされていないケースが数多く存在していることが、東日本大震災からの復興に関連して報

道されるなど、相続登記が社会的な関心を集めていることをご存知でしょうか。

相続登記が放置されているため、所有者の把握が困難となり、町づくりのための公共事業が進まないなどのいわゆる所有者不明土地問題が顕在化しており、また相続登記の未了は、適切な管理がされていない空き家が増加している大きな要因の一つであるとの指摘もされています。

未来に繋ぐ、相続登記をしませんか。詳しくは、法務省ホームページ (http://www.moj.go.jp/MINIL/minio5_00207.html) でご確認ください。



◆問い合わせ先◆
旭川地方法務局登記部門
☎0166(38)1161

最低賃金引上げに向けた企業等支援

北海道の最低賃金は810円となっており、適用労働者は、北海道において事業を営む全産業の使用者及びその者に使用される労働者です。

最低賃金引上げに向けた中小企業・小規模事業者への支援策については、次のとおりとなっております。

- 北海道最低賃金総合相談支援センター

最低賃金の引上げで影響を受ける中小企業・小規模事業者の皆様のために、経営や労務管理などの専門家による無料相談等のワン・ストップサービスを提供する、北海道最低賃金総合相談支援センター（事業受託者：北海道中小企業団体中央会）を開設しています。

相談窓口
☎0120(67)3110
※月～金曜日、9時～17時
・ホームページ
<http://www-chuokai.or.jp/sosten/index.html>

- 業務改善助成金

業務改善助成金は、中小企業・小規模事業者の生産性向上を支援し、事業場内で最も低い賃金（事業場内最低賃金）の引上げを図るための制度です。

生産性向上のための設備投資などを行い、事業場内最低賃金を一定額以上引き上げた場合、その設備投資などにかかった費用の一部を助成します。

相談窓口
☎0120(67)3110
※月～金曜日、9時～17時

- ・申請先
北海道労働局雇用環境・均等部企画課
☎011(788)7874
・ホームページ
<http://www.mhlw.go.jp/gyomu/kaizen/index.html>

- キャリアアップ助成金

有期契約労働者、短時間労働者、派遣労働者といった非正規雇用労働者の企業内でのキャリアアップ等を促進するため、これらの取組を実施した事業主に対して助成をするものです。

本助成金は8つのコースに分けられますが、「最低賃金引上げ」に関係するのは、有期契約労働者等の賃金規定等を改定した場合に助成する「賃金規定等改定コース」です。

- ・相談窓口
北海道労働局職業安定部職業対策課
☎011(788)9071
・ホームページ
http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou/roudou/part_haken/jigyounushi/career.html

- 人事評価改善等助成金

生産性向上に資する人事評価制度と賃金制度を整備することを通じて、生産性の向上、賃金アップ及び離職率の低下を図る事業主に

対して助成するものであり、人材不足を解消することを目的としています。

・相談窓口
北海道労働局職業安定部職業対策課

☎011(788)9132
・ホームページ

<http://www.hlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/000158133.html>

◆問い合わせ先◆

北海道労働局労働基準部賃金室最低賃金係

☎011(709)2311

ちびっこ探検学校
ヨロン島参加者募集

公益財団法人国際青少年研修協会(文部科学省所管)では「第42回ちびっこ探検学校ヨロン島」の参加者を全国より募集しています。この事業は、沖縄に近い南の島「ヨロン島」のサンゴ礁の海と美しい自然の中で、全国から参加する仲間との民宿での共同生活や、様々な野外活動(海水浴、イカダ作り&イカダこぎ、さとうきび刈り、洞窟探検、野宿体験など)を通して友達作りの楽しさを知り、お互いに協力し助け合い、積

極的にチャレンジする心を養います。また在日外国人小学生と活動・生活を共にすることで、言語や週間を超えて友情を深め、国際感覚を身につける第一歩とします。

◆期間
平成30年3月26日～4月1日

◆定員
日本人小学生 200名
在日外国人小学生 100名

◆応募締切
平成30年3月5日

◆問い合わせ先◆

公益財団法人国際青少年研修協会
☎03(6417)9721

吹雪の視界情報

北海道の道路情報総合案内サイト「北の道ナビ」では、「吹雪の視界情報」を常時、提供しています。悪天候時に自動車で行く際には、視界情報(現況と予測)、気象警報・注意報、通行止め情報

等をご参照いただき、冬道での安全運転にお役立てください。

■吹雪の視界情報URL
<http://northern-road.jp/navi/touge/fubuki.htm>



◆問い合わせ先◆

国立研究開発法人土木研究所寒地土木研究所
☎011(841)1111

国有林モニター募集

林野庁北海道森林管理局では、国民の皆様が国有林の役割や現状等をご理解いただくとともに、国民の幅広い意見を把握し、国有林野の管理経営に役立てるため、平成30・31年度の「国有林モニター」を次のとおり募集します。

■募集人数
48名

■依頼期間
平成30年4月から平成32年3月までの2年間

■依頼内容
・国有林や森林・林業に関するアンケート調査への回答
・モニター会議・現地見学会への

出席(旅費・宿泊費はこちらで負担します。ただし、国家公務員の旅費規程に基づく額を支給します。)

・国有林の管理経営に関する意見・提言などの提出

※林野庁や森林管理局の広報資料など定期的にお送りします。

■応募資格

北海道にお住まいで、国有林に関心のある満20歳以上(平成30年4月1日時点)の方

※国会及び地方議会の議員、地方公共団体の長、常勤の国家公務員、林野庁OB、森林・林業担当の自治体職員及び平成28・29年度に国有林モニターであった方は除きます。

■募集期限
平成30年2月23日(必着)

■応募方法
次の必要事項をご記入のうえ、郵送・FAX・メールのいずれかの方法で、北海道森林管理局企画課国有林モニター担当(〒0664-8537・札幌市中央区宮の森3条7丁目70番)までご応募ください。

①氏名(ふりがな)、②性別、③住所、④郵便番号、⑤生年月日・年齢、⑥職業、⑦電話番号、⑧国有林モニターを知ったきっかけ(〇〇新聞、〇〇ホームページなど)、⑨応募理由(100字程度)

※応募いただいた個人情報、国有林モニターに関する目的以外には使用いたしません。

■選考結果
平成30年3月末までに依頼状の発送をもってお知らせします。

・選考結果に対する個別のお問い合わせにはお答えできませんので、あらかじめご了承ください。

■その他

・アンケートの回答、ご意見、ご提言は匿名にて公表する場合があります。

・見学回答の様子はホームページや広報誌等で公表することがあります。

・モニターから提出いただいたご意見、ご要望に対して個別にはお答えできませんので、あらかじめご了承ください。

◆問い合わせ先◆
北海道森林管理局企画課国有林モニター担当

☎011(622)5228

オロン・スノー
パラダイス2018

留萌地域の冬を楽しむためのイベント「オロン・スノーパラダイス2018」を開催します。雪のわくわく迷路やけあらしの里、

キャンドルナイトなど、楽しい催しが行われます。

イベントの詳細につきましては、留萌振興局のホームページをご覧ください。

なお、当日の天候によっては、イベントが中止になる場合があります。

■開催日
平成30年2月3～4日

■場所
北海道留萌合同庁舎
(留萌市住之江町2丁目1・2)

■参加料
無料

■イベント内容
・雪のわくわく迷路
・子どもたちが楽しめるゲーム大会を開催します。

・けあらしの里
・ドラム缶風呂やイグルー体験、雪遊びが楽しめます。

・キャンドルナイト「光のファンタジー」

留萌合同庁舎4階食堂「キッチンRuRu」からキャンドルが灯る雪の名をご覧ください。

・その他
留萌高等学校吹奏楽部スペシャルコンサート、留萌千望高等学校SPマルシェ、はたらく車大集合！など、たくさんイベントを

行います。



◆問い合わせ先◆

オロロン・スノーパラダイス・プロジェクト事務局(留萌振興局地域政策課)
☎01664(42) 8421

個別労働紛争 解決セミナー

人事労務管理の個別化や雇用形態の変化などに伴い、労働関係についての個々の労働者と事業主との間の紛争(「個別労働紛争」といいます。)が多くなっています。

本セミナーでは、事業主、企業の人事労務後担者を対象に、解雇・退職・雇止め等労働関係の終了に係るトラブルの未然防止、紛争解決への取組支援について、数多くの個別労働紛争の解決に携わってこられた北海道紛争調整委員会のある委員会による講演、労働関係法令の解説、個別労働紛

争に係るADR制度・機関の情報の提供が予定されております。

■日時
平成30年2月2日(金)
13時30分～15時30分

■場所
札幌第一合同庁舎2階講堂

■定員
150名(満席になり次第締切)

■参加費
無料

■申込方法
北海道労働局ホームページから本セミナーのリーフレットを印刷し、リーフレット裏面の申込書に必要事項を記入の上、FAXで申し込みください。

■リーフレット掲載URL
http://hokkaido-roundoukyoku.site.mhlw.go.jp/news_topics/topics/120461/120578.html

◆問い合わせ先◆

北海道労働局雇用環境・均等部指導課
☎011(709) 2311

交通事故の援護制度

交通事故被害世帯の皆さんに次のような援護制度がありますので、ご利用ください。

【交通遺児等育成資金貸付(無利子)】

■対象
自動車(バイク含む)事故により保護者の方が尾なくなられたり、思い後遺障害を残すこととなったご家庭のお子様で、0歳から中学卒業まで

■貸付金額
一人につき最初一時金15万5千円、以後月額2万円または1万円(選択制)、小・中学校入学時に入学金4万4千円

■返還方法
貸付終了後、原則として20年以内の月々均等払いにより返還

■その他
高校、大学等に在学中は返還猶予が可能です

【重度後遺障害者介護料支給】

■対象
自動車(バイク含む)事故により、脳、脊髄、または胸腹部臓器に損傷を受け、常時または随時の介護を必要とする方で一定の要件に該当する方

■支給額
月額2万9290円から月額13万6880円の範囲で、障害の程度や介護費用の支出に応じて支給

※「短期入院」費用も別途支給

■注意
介護保険サービス、労災の介護給付等との併用はできません

◆問い合わせ先◆
独立行政法人自動車事故対策機構 旭川支所
☎0166(40) 0111

町民憲章

日本は、川天と塩川、天塩の町民は、たくましく明るい町をつくらせよう。先づ、町民の心を豊かにしよう。美しいまちをつくりましよう。未来をみつめ、産業をのばしよう。

からだをきたえ、仕事にはげみ、明るい家庭をつくりましよう。きまりを守り、力をおかせ、住みよい社会をつくりましよう。教養を高め、文化を育て、豊かな郷土をつくりましよう。自然を愛し、環境をととのえ、美しいまちをつくりましよう。未来をみつめ、産業をのばし、希望にもえる町をつくりましよう。

掲載を希望される方へ
2月号へ掲載を希望する方は1月17日(水)までにお知らせください
総務課企画広報係

「厚志」の紹介

●天塩町社会福祉協議会 愛情銀行へ

【香典返しとして】

海岸通11 白幡 憲人 さん
 新栄通4 山本 春光 さん

●恵愛荘へ

山手通7 福士 由紀子 さん
 緑新団地 太田 秀雄 さん
 北川口 利木 正三 さん
 北川口 木下 照夫 さん
 東産土 桑澤 悠紀夫 さん
 南更岸 菅井 治 さん
 振老 藤澤 京子 さん
 天塩オータリークラブ 様
 北海道コカコーラボトリング(株) 様

●ボランティア活動

【恵愛荘へ】

遠別町 山本理容院 様
 【ライサービスセンターへ】
 山手裏通4 来田 和雄 さん
 山手裏通3 園田 一治 さん

天塩町電子図書館



天塩町電子図書館
 サイトQRコード

天塩町電子図書館は、パソコンやスマートフォン等でいつでも電子図書を貸し借りできるサービスです。町民の方は、無料で利用ができますので、ぜひご利用ください。
 ※ご利用には、町教育委員会から発行されるIDとパスワードが必要となります。

マチの話題（番外編）

・介護タオロ寄贈

12月12日、天塩町女性団体連絡協議会草刈房子会長らが恵愛荘に訪れ、約2千枚の介護タオロを寄贈しました。草刈会長から手渡された社会福祉協議会田村彰会長は「皆さんの温かい気持ちを受け取りました」とお礼を述べました。



▲寄贈した草刈会長（右）

・パーティー収益を寄付

12月13日、雄信内チャリティー実行委員会が歳末助け合い共同募金会（町社会福祉協議会）に対し歳末チャリティーパーティーで得た収益を寄付をされました。寄付は今年で20回目となります。



▲町を通じ寄付を行った

地域貢献企業等の紹介

地域振興のためご尽力いただいた企業等に対し、感謝状の贈呈を行いました。ご尽力いただきましたことに對し、深く感謝申し上げます。

- 地崎道路株式会社北海道支店 様
 （天塩小敷地内アスファルト舗装）
- 株式会社ヤナセグローバルモータース 様
 （相乗り事業専用車の無償貸与）
- 道路メンテナンス株式会社 様
 （海岸清掃）
- 堀松建設工業株式会社 様
 （こども園内床ワックス清掃）
- 山高建設工業株式会社 様
 （雄信内公園東屋等補修）
- 鹿児島建設株式会社 様
 （天塩小グラウンド整地）
- 堀口・菊地経常建設共同企業体 様
 （天小グラウンド内の芝生張付）

編集後記

♪ 明けましておめでとうございます。今年も「広報てしお」をよろしくお願いたします。今年の抱負も心穏やかに「温厚篤実」の広報担当の相馬です。♪ 今年の干支は「戌」です。年賀状に愛犬を載せた方もいるのではないかと思います。ペットとして身近な犬のように、広報紙も身近であればと願います。

お詫びと訂正

先月11月号で左記の箇所に誤りがありましたので、訂正し、お詫び申し上げます。
 14頁掲載「ご厚志の紹介」2行目
 誤…【社会福祉のため】
 正…【香典返しとして】
 同2行目
 誤…【施設のため】
 正…【社会福祉のため】

おめでとうございます

～おたんじょう～

（南開団地）
 越後屋 明莉 さん
 彰一さん・幸永さんの長女
 （南町）
 前山 紬 さん
 建さん・富由那さんの長女
 （南町）
 白井 金太瀧 さん
 宏和さん・総子さんの長男

～ごけっこん～

（山手裏通8）
 石山 剛 さん
 吉田 睦 さん
 （新地通4）
 黒田 紘成 さん
 高田 未来 さん

ごめいふくをお祈りします

（みどり）
 田村 滋 さん（81歳）
 （新地通11）
 白幡 八重子 さん（75歳）
 （みどり）
 山本 稔 さん（73歳）

まちのうごき

11月末
 人口 3,179人 (-2)
 男 1,579人 (-1)
 女 1,600人 (-1)
 世帯数 1,564世帯(±0)
 ※ ()内は前月比